

No.764 2010年11月29日

ARIBからのお知らせ

第79回電波利用懇話会開催のお知らせ 「TransferJetの国際標準化に向けた取組み」

TransferJetは、データを転送したい相手に機器を直接「かざす」ことにより、無線特有の面倒な設定をなくし、煩雑な初期設定も不要にするとともに、物理的なコネクタやケーブルを必要としない非接触型の新しい近距離無線転送技術です。今年に入ってから、TransferJet対応デジタルカメラ、TransferJet内蔵パソコンやメモリースティックなどの製品が発売されるなど、着実に私たちの生活の中に取り入れられつつあるシステムです。

一方、相互接続仕様の確立に向けて、2008年にTransferJetコンソーシアムが設立され、2010年9月現在、製造メーカーを含む50社を超える企業が参加しています。コンソーシアムでは、TransferJet搭載機器の相互接続性を確保するための規格の策定、相互接続の検証等を行うとともに、TransferJetの国際的な普及と市場形成を目指した活動を行なっています。TransferJetは、2011年前半にはECMAの標準規格として採択される見込みであり、今後はISOの国際標準規格化に向けて積極的な取組みが行われています。

このように、今後のビジネス機器のみならずコンシューマ家電の分野において、国際的な事業化の展開が期待されているTransferJetについて、その新しいサービスの可能性、国際標準化に向けた取組み、今後の国際市場での展開などを中心に、TransferJetコンソーシアムのテクニカルワーキンググループ議長の富樫 浩氏をお招きして、ご講演頂くこととなりました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようにご案内申し上げます。

- 1 日時 : 平成22年12月17日(金) 午後2時から3時30分まで
- 2 場所 : 社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル11階)
東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題名 : 「TransferJetの国際標準化に向けた取組み」
- 4 講師 : TransferJetコンソーシアム テクニカルワーキンググループ 議長 富樫 浩 様
(ソニー株式会社 コンシューマ・プロフェッショナル&デバイスグループ TJ推進室)
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 60名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 芝山まで TEL: 03-5510-8592

第 77 回電波利用懇話会を開催

11月18日(木)に、第77回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、JAXA 宇宙利用ミッション本部衛星利用推進センターの主任開発員 小暮 聡 様を講師にお迎えし、『準天頂衛星を用いた新しい測位ビジネスの可能性～準天頂衛星の効果とアプリケーション事例～』というテーマでご講演いただき、会場満員の約 60 名の会員の皆様に受講いただきました。

講演では、前半は、準天頂衛星システム (QZSS) / 準天頂衛星初号機「みちびき」の紹介として、QZSS の効果や打ち上げ・初期機能確認の状況、技術実証実験計画等を、後半は、みちびきを使ってみよう！と題して、多くの具体的な利用例やデータ公開の紹介、マルチ GNSS 実証実験キャンペーン構想等を、スライドや動画を交え分かり易くご説明いただき、全体をとおし受講者の高い関心を集め、熱心に聴講いただきました。また、システムの提供する測位誤差などに関して、数多くの質疑応答が行われました。

懇話会アンケートにも、「応用分野についてよくわかった」「分かりやすく解説してくれたので、QZSSに関する理解が深まった」「2号機、3号機の立ち上げを実現して欲しい」等の感想が寄せられました。



第 77 回電波利用懇話会の様子と小暮主任開発員

第 175 回技術委員会（放送分野）を開催

第 175 回技術委員会（通信分野）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 22 年 11 月 24 日(水) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 主な議題
 - (1) 品質評価法調査研究会に関する活動についての報告。
 - (2) マルチメディア放送の ARIB 標準規格化状況と今後の対応についての報告。
 - (3) デジタル放送システム開発部会体制の見直しについての報告。
 - (4) 第 7 8 回規格会議の結果についての報告。
 - (5) 「CEATEC JAPAN2010」出展結果についての報告。
 - (6) ARIB STD-T75 のベトナム語翻訳及びその使用についての報告。

総務省からのお知らせ

広帯域移動無線アクセスシステム委員会 報告（案）に対する意見の募集 (FWA システムを除く広帯域移動無線アクセスシステムの高度化に関する技術的条件について) 【平成 22 年 11 月 12 日総務省報道資料から】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 広帯域移動無線アクセスシステム委員会（主査：安藤真 東京工業大学大学院 理工学研究科教授）は、平成 22 年 9 月から FWA を除く広帯域移動無線アクセスシステムの高度化に関する技術的条件について審議を行ってまいりました。

このたび、報告（案）を取りまとめましたので、本報告（案）について、平成 22 年 11 月 12 日（金）から同年 12 月 12 日（日）までの間、以下の要領で意見を募集いたします。

- 1 意見募集の対象
[情報通信審議会 情報通信技術分科会 広帯域移動無線アクセスシステム委員会 報告\(案\)](#)
- 2 概要
情報通信審議会 情報通信技術分科会 広帯域移動無線アクセスシステム委員会は、平成 22 年 9 月から、FWA システムを除く広帯域移動無線アクセスシステムの高度化に関する技術的条件について審議を行っており、これまでの審議結果について取りまとめたものです。
なお、「広帯域移動無線アクセスシステム委員会 報告（案）」は、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口（<http://www.e-gov.go.jp>）の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡窓口（広帯域移動無線アクセスシステム委員会事務局：総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 担当：中里課長補佐、和田係長）において閲覧に供することとします。
- 3 意見募集の要領
[別紙](#)のとおり
- 4 募集期限
平成 22 年 12 月 12 日（日）午後 5 時（必着）

意見提出上の留意点等、詳細は総務省報道資料をご参照ください。



調査統計小委員会 委員長 北本 佳樹
(パナソニック株式会社 渉外本部 政策企画グループ
調査統計チーム チームリーダー)

本年4月から調査統計小委員会 委員長を拝命いたしております北本と申します。

調査統計小委員会は、電波産業の技術動向や情報通信行政の動向、さらには関連する標準化団体・会議の動向まで、いわば電波にまつわる直近の動きが一冊で把握できる「電波産業年鑑」を発行することをミッションといたしております。

今年も放送、通信、製造の各企業の代表者と事務局の精鋭とで智恵をめぐらせ、内容の充実と読みやすさという二律背反とも言えるテーマにとりくみまして、明日(11月30日)無事発刊の運びとなりました。関係各位のご尽力とご協力に感謝いたします。

私はいくつかの工業会や団体で委員会活動を行ってまいりましたが、この調査統計小委員会の活動の中で素晴らしいと感じ、是非皆様にご紹介させていただきたい事柄がひとつございます。それは活動指針に「環境エコの観点から本誌のボリューム削減を図る」と明記し、実践している点です。ややもすれば努力の尺度を分量に求め、ページ数を増加しようとする報告書もないとは言えません。しかしながら「電波産業年鑑」は、重複記事の見直しや添付のCD-ROMで活用できる資料などは思い切って本誌から削除するなどをして、2009年版は前年と比べ66ページ、そして今年の2010年版ではさらに70ページの削減を実現いたしました。

電波産業年鑑の本年発行数は約700冊ですので、数十ページでは総量で高々数万枚の削減でしかありませんが、それでもこの取組みのコンセプトは他の工業会活動においても是非広めてまいりたいことだと思います。願わくは、スリム化に取り組んでいる「電波産業年鑑」が本来の目的も達成し、皆様のお手許に常備され日々の活動に供されますことを祈ってやみません。

編集後記

北本委員長からのご紹介のように、今年も無事に電波産業年鑑を発行することができそうです(ニュースの発行日が1日前なので)。今年は新委員長のもとで、内容がさらに充実するとともにページ数を削減し環境エコも実現しております。今年も、アンケートを添付しております。新たな改善点など、皆様建設的なご意見をお待ちしております。(敬天愛人)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp